

今年最小のミニマムムーンを 見よう



天空が広がるうぶやまの高原には、寒い北風が吹きわたり、産山から見える阿蘇、久住、祖母の山々も雪に覆われています。夜半の外気温は氷点下になりますが、冬の夜空は透明度が高く、スターウォッチングには最適です。

今回は、1月18日（火）に見れる今年最小のミニマムムーンの満月です。17時過ぎに東の空から昇ってくる満月は、今年最小のミニマムムーンとなります。満月は、北米の先住民がウルフムーンと呼んでいました。最小の理由は、地球との距離が最も遠いからです。7月14日（木）の地球との距離が最も近いスーパームーンと比較すると、スーパームーンは35万7千km、ミニマムムーンは40万1千kmで、大きさはスーパームーンに比べて12%小さく、明るさは22%も暗くなります。比較する対象がないので分かりにくいのですが、満月を見慣れた人なら幾分か小さく、少し暗いのが分かると思います。昨年12月18日（土）も昨年最小のミニマムムーンでしたが、この時期は月が地球から最も遠い位置にあるため、相次いでミニマムムーンが起きます。

天文台では、他に中秋の名月の時くらいにしか満月を見ることがないので、この機会にぜひご覧ください。

| | |
|------|--|
| 期 日 | : 令和4年1月18日（火） |
| 時 間 | : 午後6時00分～10時00分 |
| 場 所 | : うぶやま天文台 (熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内) |
| 観察対象 | : 次ページに掲載 |
| 持参物 | : 防寒着 星座早見盤（学校等で制作したもの。一般参加者で持ってない方には当日配布します） |
| 料 金 | : 村内の方・・・無 料 村外の方・・・高校生以上：300円 小中学生：200円 未就学児：無 料 |

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

天候不良などで実施できない場合は、中止します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。

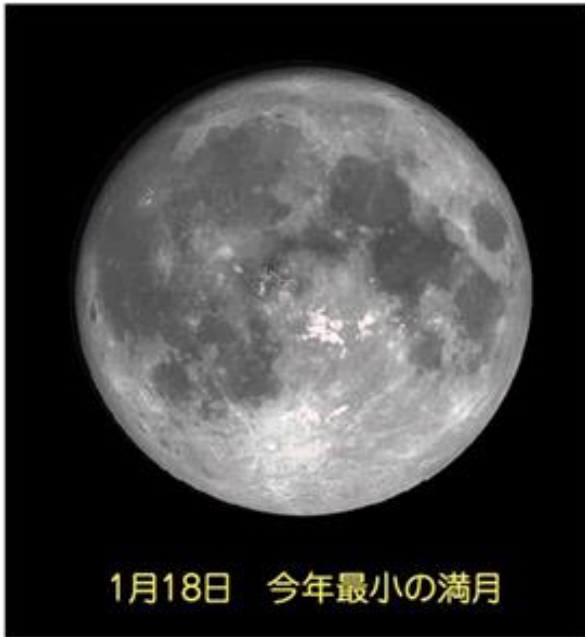
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会（0967-25-2214）までご連絡下さい。

【ご来館予定の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。
- マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。

今回の観察対象



1月18日 今年最小の満月

地球との距離 40万1千 km



7月14日 今年最大の満月

地球との距離 35万7千 km



冬の大三角



冬のダイヤモンド

冬は凍てつく寒さですが、冬の星空は透明度が高く、星空が良く見えます。また、1等星が冬のダイヤモンドを形成し（オリオン座のベテルギウス、リゲル、ふたご座のボルクス、おうし座のアルデバラン、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウス）さらに北に住む人の憧れの星、りゅうこつ座の α 星、見たら長生きするといわれている南極老人星カノープスと大変賑やかです。特にカノープスは高度が低くてなかなか見れないので貴重です。うぶやま天文台では18日は午後9時頃、南南東の空から昇ってきて見頃になります。